



全国港湾の真島委員長による乾杯の音頭でスタート



2023. 12. 8
NO. 673 号

全港湾関西地方
阪神支部
大阪市港区築港
1-12-27

06-6574-8424
078-303-0800



富山委員長

ら1年にも満たない1946年7月には全日本港湾同盟を発足させ、2年後の1948年6月には単一組織化を成し遂げ現在の全日本港湾労働組合が誕生しました。戦後間もない当時は港湾の荷役と復旧に社会が激動する中、全港湾の原形がこうしてつくられました。分断が一層深まる現在を想像していたかのよう

全港湾関西地方本部設立60周年記念レセプションが10月27日に弁天町アートホテル大阪ベイタワーで盛大に執り行われました。全港湾中央本部、各地方、支部、共闘関係、分会、企業、関係各位にご臨席いただきました。主催者代表挨拶では、山

山関西地方本部執行委員長から「組合、事業者代表、友好団体、業界団体の皆様にはご多忙にも関わらず本式典にご臨席たまわり、また、関西地本諸活動へのご支援、ご協力に心から感謝します」と謝意を述べ、「本式典は昨年同時期に行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの流行で延期となりました。本年5月には緩和され、ようやく開催される事を喜び、分ちち合いたいと思います」と

関西地本の成立し、「歴史を振り返りますと昭和20年、敗戦の様相が深まる頃、戦前から労働運動に携わってきた諸先輩方の指導が実を結び、終戦か

関西地本の抱負

普段から親しい関係の方や、顔を見知った方、初めて顔を合わす方まで各企業、地方、関係者、組合員の仲間たちとも幅広い交流ができ、賑やかで盛大な60周年記念レセプションになりました。

教宣部 遠藤 侑助



河野副委員長



「ちいさい秋」と口ずさみながら目を凝らしても、秋は見つからぬまま冬がやってきた。長引

いた猛暑の夏が恨めしい◆暑さの影響から各地で農作物が不作に陥っている。原油高が重なって野菜は高騰、一時は2倍近くまではね上がったものも。11月に入り沈静化の兆しが出てきたが、ネギやタマネギは高止まりしたまま◆海水温が上昇し、サケ漁に出たらブリが捕れたというニュースが伝えられ、今やサンマも高級魚になりつつある。次なる庶民の味方はどんな魚か◆統計では、物価の動きを差し引いた実質賃金は18カ月連続のマイナスだ。5月に発表された川柳コンクール

おおさが総がかり集会

日本国憲法の平和的生存権の実現を



とめよう大軍拡

く非難しました。

同時にこうした事態の背景としてイスラエルがガザ地区を占領下におき、「天井の無い監獄」に封鎖してきた歴史にふれ、「ガザの人々が死に極めて近い状態で暮ってきた」として、「ひとしく恐怖と欠乏から免れることを全世界の人々に対して謳う、日本国憲法の平和的生存権の実現を目指し、私たちができる活動を広げていこう」と呼びかけました。

憲法の平和的生存権の実現を目指し、私たちができる活動を広げていこう」と呼びかけました。

11月3日、扇町公園にておおさが総がかり集会が開かれました。

阪神支部から6名が参加し、全体で5000人が結集しました。

清末愛砂さん（室蘭工業大学大学院教授）のメインスピーチでは、パレスチナで子ども支援に携わった経験から、ガザでのジェノサイドについて、「非人間化の重大な危険である」とし、既に1万人近く

の犠牲、その4割が子どもと報じられていることについて、「明白な国際法違反の戦争犯罪だ」と強



いかそう憲法

垣島で住民用の遺体収容運搬訓練が行われるなど、本気で戦争準備をしている実態を語り、「戦争を止めるたたかいに今こそ立ち上がるう」と呼びかけました。

共産・立民・社民・れいわの各政党からのスピーチでは「市民と野党の共同で憲法を守り抜こう」と訴えました。



大規模なデモ行進

参加者全体で「いかそう憲法」「とめよう大軍拡」のコールと共にポテッカードを掲げました。

集会後は中崎町、南天満の2コースに分かれてデモ行進を行いました。

神戸憲法集会

執行委員 中川原 博

「軍事大国化」への動きと平和憲法のメッセージ

11月3日、西区文化センターにて「日本国憲法公布77周年 神戸憲法集会」が開催され、会場からあふれ

んばかりの約400名の市民が参加しました。集会は2部制で行われ、最初に文化行事として広瀬一葉さん



広瀬一葉さんの楽しい演奏

んによるピアノ演奏や、アコーディオンとおもちゃ楽器などを同時に奏でる明るい雰囲気の中で、楽が会場を包み込みました。



早稲田大学 水島教授による講演

めにCDを制作・販売されているそうですので、興味のある方は探してみてください。

次に早稲田大学教授の水島朝穂さんが「『軍事大国化』への動きと平和憲法のメッセージ」と題した講演を行いました。

あらかじめ配布された資料の内容から難しいお話をされるのかと構えましたが、プロジェクトで写真を使って話を進め、ロシアとウクライナの戦争やイスラエルとハマスの戦争について、戦争はなぜ起きるのか。誰が戦争をさせたいのか。日本の軍事費大増強や武器購入などの軍事大国化の裏側（アメリカ主導）についてなど、資料にはないオフレコ的な話がほとんどで興味深く聞きました。

そうした表の話から裏の話までを水島さんはホームページにて反戦・平和への様々なメッセージや記事を書き、国民の命が守れないなどの訴えがありました。

阪神支部（港湾）からは、入江幹事が「大阪万博が開催される夢洲には、関西の物流拠点となるコンテナ

毎週アップされており、過去の記事もさかのぼって見

れますのでご覧ください。副委員長 道下 拓也

駅頭で交通・運輸の問題を訴える

の問題を訴える

10月26日、天王寺駅前にて、陸・海・空・港湾で働く労働者で組織する大阪交運共闘会議の宣伝行動を行いました、全体で20名、阪神支部からは10名が参加しました。

宣伝では、タクシードライバーとして働く仲間から「ライドシェアには安全性の問題があり、多くの国で禁止されている。ライドシェア解禁には最後まで反対していく」ことを訴えました。

ナターミナルがあり、以前から渋滞問題があるなか、万博の工事関係車両で1日数千台のトラック等が入りしており、さらに渋滞が深刻化し、関西経済の玄関口が機能不全に陥っている」と訴えました。

通行中の方々も忙しく足早に移動されている中、街宣に興味を持っていただき、足を止めて耳を傾ける様子も見受ける事ができました。

近通分会 泊 健太郎

関西空港で働く管制官の仲間からは「大阪府は大阪万博で空飛ぶ車の導入を打ち出している。管制官は今でも人手不足なのに、空飛ぶ車の管理などとてもではないが手が回らず、国民の命が守れないなどの訴えがありました。



駅頭で訴える入江書記次長

上組コンテナターミナル見学説明会

港湾労働者の職場を
永続可能事業としたい

11月2日、PC-18上組コンテナターミナルの拡張工事が完成したことを受けて、神戸港湾労働組合協議会として見学・説明会に参加しました。

当日は全国港湾より玉田書記長・松永中執・岡部中執も参加しました。

はじめにインゲートとアウトゲートを確認し、その場から西側を見渡すと遠隔操作RTG作業エリア（全5レーン）が広がり、コンテナが積み重ねられていない状況

ではかなり広大な敷地に見えました。各ゲートに関しての説明があり、インゲートは実入り・空バンの搬出入受付9レーンを設置、アウトゲートは実入り・空バンの搬出4レーンを設置していると説明を受けました。

その後、ターミナル操作室の会議室にて改めて説明と意見交換となりました。

まず今回の拡張工事について「高い公共性をあわせ持つ重要なインフラであるコンテナターミナルの運営と港湾労働者の職場を永続的な持続可能事業としたい。そのためには労使間の協力が必須であり、2020年の労使協定を厳守する」と説明を受けました。

そして、遠隔操作RTGの実証実験の経過説明と今後のスケジュールとして24年度に4基、25年度に4基、26年度に4基の合計12基の追加を予定していること

PC-18にて説明を受ける参加者

との報告を受けました。意見交換では、既存のコンテナ取り扱い量、今後予定される取扱量や、RTGの安全性・作業員の職域確保についての意見が出されました。

質問に対して、上組からは「導入予定のRTGについては安全・安心のテナー」と回答があり、見学・説明会を終了しました。

副委員長 松本 栄二

第一回中央トラック・海コン合同対策会議

2024年問題

悪しき習慣を打ち破り
魅力ある産業へ

11月6・7日、日港福会館にて中執3名・各地方代表20名の参加で第一回中央トラック・海コン合同対策会議が行われました。

今回、旅客関係は別日での開催となり、関西からは4名が参加しました。

はじめに、第一回目ということもあり、担当中執の畠山中執より今回の会議の進め方について説明と挨拶がありました。

その後、中央交運労協事務局長である慶島氏より「2024年問題」と題し

物流革新政策
パッケージ

パッケージ

講義を受けました。

はじめに今年6月に政府が提出した「物流革新に向けた政策パッケージ」につ

荷の軽減や取引価格の見直し、そして多重下請け構造の是正等の問題に対し「トラックGメンによる発荷主企業のみならず、着荷主も含め、適正な取引を阻害する疑いのある企業を監視強化とする」しています。

標準的な運賃制度の拡充・徹底

度

また、「標準的な運賃制度の拡充・徹底」とあり、これに対しても「トラックGメンの監視を強化していく」と記されていますが、どこまで実効性のあるものになるかは今後、期待していきたいと思いました。

畠山中執より、新聞記事を引用され2024年問題について「標準的な運賃」については8月時点でも微増に留まっている現状であることや、全ト協の坂本会長が「今までの悪しき習慣を打ち破らないといけな

①物流の効率化②荷主・消費者の構造の行動変容③商慣行の見直しの3項目がありました。特に商慣行の見直しについて、荷主・物流事業者間における物流負



「2024年問題」の講義を受ける

い」と全国トラック運送事業者大会で発言された内容を紹介されました。

2024年問題の解決にあたり、我われのトラック産業が大きく飛躍し魅力ある産業に変わるきっかけになればいいと思いました。

その後、各地方の報告に移り、関西からは近畿整備局の報告と万博工事におけるDICTコンテナターミナル渋滞や待機レーンの増設等を報告しました。

翌7日、冒頭に河野担当中執より昨日の政策パッケージの要点のまとめに加えて、「2023年交運労協

の制度・政策要求を参考にして2024年に行う本省要請書の中身に對してどう加筆・修正を加えるかを各地方で議論して1月に行う全港湾中央委員会までに提出してほしい」と参加者に求めました。

副委員長 松本 栄二

「年収の壁」

パート労働者らの収入が一定額を超えるると、年金などの社会保障料の負担が生じ手取り収入が減ること。手取りが減らないよう働く時間を調整するケースが少なくない。人手不足への対応が急がれる中、政府は「年収の壁」解消に向け23年10月から25年度までの支援強化パッケージを実施。

従業員100人超の企業の場合、年収が106万円を超えると、配偶者の扶養をはずれ厚生年金や健康保険の保険料の支払いが生じる。低所得者の保険料引き下げが必要だ。

ことばのミニ事典

では「106万円の壁」について、手取りが減らないよう賃上げした企業に助成金などの支援を行う。

上記以外の場合、年収130万円超で国民年金や国民健康保険の保険料支払いが生じる。

「130万円の壁」には、一時的に年収130万円を超えても企業が証明を出せば連続2年まで扶養にとどま

大阪港 官労使 合同防災勉強会 南海トラフ地震を想定し、 学習と避難訓練を実施

11月17日、大阪港勤労福祉会館に於いて大阪港湾局主催による「大阪港の防災について、官労使合同勉強会」が官10名、企業34名、組合27名の総勢71名出席のもと開催されました。

大阪港湾局長の丸山順也氏より、近年の台風被害及び局地的豪雨などによる被害の多発や、平成30年に大阪にも甚大な被害をもたらした台風21号の被害報告と、この先40年以内に90%の確立で発生すると言われている南海トラフ地震に触れられ、「災害が起きれば大きな混乱を招く事となるため、事前に知識を深め対策を検討し講じる事」の重要性を訴えました。

その後、防災・海上保全担当課長の出口幸司氏より①高潮と津波について②大

・津波避難訓練が実施されました。

阪港の台風・高潮対策③平成30年の台風21号を踏まえた取り組み④大阪港の地震・津波対策の講演がされました。

質疑応答のなか、私の方から東日本大震災以後、港頭地域での避難訓練取り組みの要請を行ってきた経過と継続的取り組みについての感謝を述べ、これからの取り組みで頂きたいという事と、港頭地域内に於いて聞き取れない地域への防災スピーカーの増設を要請しました。大阪港湾局より

「問題ありと取らまえ検討課題とし改善に努めたい」との回答が示されました。

その後DICTに場所を移し、南海沖マグニチュード9・1、大阪市内震度6弱、沿岸地域・大津波警報発令という想定のもと地震

DICT集中管理棟内で勤務中の事務員、周辺作業員を含め約70名が参加し、屋上への垂直避難行動後、今回の避難行動訓練の主旨説明と継続的な取り組みへの理解を訴え、終了となりました。

参加規模及び訓練内容など多くの課題があると思われませんが、まずは問題意識を持ち、対策を講じ、改善を重ねる事により実効性のあるものに作り替えていく事が可能である取り組みであつたと改めて実感できました。

厚生労働省が主催する過労死等防止対策推進シンポジウムが11月6日、グランフロント大阪で開催され、労職対委員5名が参加しました。

副委員長 坂本 幸治

大阪労働局から取り組み

カマヤん へんこつジヤン ありむら潜



また2024年問題については、「自動車運転者は荷待ち時間の削減、建設業では休息が取れる工期設定を具体的且つ効果的な対策と位置付けている」との説明がありました。

また、自動車運転者の過労死は業種別で最多であり、原因として脳・心臓疾患が突出しています。長い労働時間と睡眠時間の少なさは、本人が眠気を感じていなくても反応は明らかに遅くなるなどのデータも示されています。

「うつ」の症状を発症するとか何が正常で何が異常であるかの分別もつかなくなり、仕事を辞める判断も出せずに最悪の結果になってしまふ」との事で、組合員の皆さんの周りでも表情が暗い・元気がない同僚がもしいるのであれば、必ず一声かけてもらう事でお互いを励ましあう行動につなげてもらいたいと思います。

書記次長 入江 友規

過労死等防止対策シンポジウム

疲労を蓄積させず良質な睡眠を

報告があり、全産業、全労働者（パートタイム労働者含む）の総実労働時間及び所定内労働時間は減少傾向にありますが、これは非正規労働者、パートタイム労働者の増加が1番の要因であると推測されています。

また、自動車運転者の過労死は業種別で最多であり、原因として脳・心臓疾患が突出しています。長い労働時間と睡眠時間の少なさは、本人が眠気を感じていなくても反応は明らかに遅くなるなどのデータも示されています。

また、自動車運転者の過労死は業種別で最多であり、原因として脳・心臓疾患が突出しています。長い労働時間と睡眠時間の少なさは、本人が眠気を感じていなくても反応は明らかに遅くなるなどのデータも示されています。

「うつ」の症状を発症するとか何が正常で何が異常であるかの分別もつかなくなり、仕事を辞める判断も出せずに最悪の結果になってしまふ」との事で、組合員の皆さんの周りでも表情が暗い・元気がない同僚がもしいるのであれば、必ず一声かけてもらう事でお互いを励ましあう行動につなげてもらいたいと思います。

書記次長 入江 友規



DICT管理棟屋上に避難

分かるかな？

懸賞クイズ



【問題】

湖の上に睡蓮が浮かんでいます。毎日、睡蓮は2倍に増えます。睡蓮が湖全体を覆うのに50日かかります。では、湖の半分を覆うには何日かかる？

672号の回答 「大阪」

4名の方から応募があり、全員が正解でした。以下の正解者4名にQ U Oカードを進呈します。

萩原 幸一（シンケン）、石水 大資・河野 亜紀・田中 俊行（内外フォーディング）

673号の締め切り日は、1月12日（金）です。ふるってご応募ください。